



第2回ハッチネットセミナー



八王子市幼児教育・保育センター
連絡先 042-673-3707

令和6年9月5日(木)18:30~20:30 八王子市生涯学習センター クリエイトホール

講義 「教室の中で学習に苦戦する子供たち」～合理的配慮シーズを見つけるために～



講師 明星大学 教授
小貫 悟 氏

参加人数:83名

以下を中心に講義をしていただきました。

- ・通常学級に在籍する発達障害とは (LD・ADHD・高機能自閉症)
- ・「合理的配慮シーズ」の早期発見について
- ・授業ユニバーサルデザインについて (授業のユニバーサル化モデル)
- ・「成功体験の確保」を「成長の実感」につなげる



～幼児教育・保育アドバイザーより～

「授業のユニバーサルデザイン」とは、特別支援教育を指しているのではなく、インクルーシブ教育として、通常学級の中で皆が成長できること。困り感のある子に注目して、授業の内容を視覚化、共有化、焦点化するなどの合理的配慮が、実は他の子どもにとっても有効な手立てとなることと理解しました。障害の個人因子の変化のみに捉われることなく、環境因子の充実を図ることが大切です。

アンケートに寄せられた感想(一部抜粋)



- ・シーズ、種を見つけるという考えが柔らかくて素敵です。目が出て育つイメージがあるので。ありがとうございました！
- ・合理的配慮シーズは幼少期の頃に見つけ、早いうちに支援できるとそのこどもの未来が広がることを学びました。子どもが周りとは異なるのではなく、自分自身の成長を感じられるように関わっていきたいです。
- ・発達障害のある子を担任していますが、その子を想像しながら話を聞きました。普段、一緒に生活をしていると、周りの子と比べてできないことの方が目立ってしまい、焦点を当ててしまっていたなと気づきました。できることや、どうすればできるようになるかを考えて、子どもと関わっていきたいと思いました。

次のハッチネットセミナー(予定)

東京都立大学 人文科学研究科 名誉教授 浜谷 直人 氏

日時:令和6年11月7日(木) 18:30~20:30 場所:八王子市教育センター

内容:「障がいのある子どもの人権と主体性」-未来の子どもが育つ場を創る-

